



JAはだの

発行所
秦 野 市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

「アロマレッド」は、食味の良さとフルーティな香りが特徴の品種。2014年から生産が始まり、現在は市内の農家11人が合計約33万の畑で栽培している。JAは生産者をサポートしようと、種子の費用を一部助成する他、TAC(地域農業の担い手に向く営農担当者)が施設している。JAは生産者をサポートしようと、種子の費用を一部助成する他、TAC(地域農業の担い手に向く営農担当者)が施設している。

田んぼアートの米でおにぎり来店者に振る舞い活動をする。本町支所運営委員会は、15日、今年制作した田んぼアートの米でおにぎりを作り、同支所の来店者に振る舞った。地域住民らにJAや同会の活動への理解を促そうと実施。来店者からは「もちもちしている」「とてもおいしい」など人気を博した。田んぼアートは、JA創立55周年を記念して制作したもの。同会は、上大槻の水田で小田急線の

肥管理や収穫時期などを指導している。さらに、規格外品などを活用したポタージュスープの開発も進んでいる。生産者の一人、蓑毛の湯山忠夫さんは、8月上旬から3月の畑で「アロマレッド」の栽培に励んでいた。「JAのサポートには助かっている。今年も色づきが良く、しっかりしたニンジンができた」と、笑顔を見せる。今年の出荷は22日から開始。来年1月下旬まで、JA全農中央ベジフルセンターを通じて県内のAコープなどに出荷を続ける予定だ。

「おいしい」の声を励みに。は、家族と共に合計約2畧の圃場(ほじょう)を管理、梨の出荷を始める。梨の出荷は、早期から始める収穫や出荷作業などを家族と分担して進めている。栽培管理では土づくりや、た直売所や地元農家と

「おいしい」の声を励みに。は、家族と共に合計約2畧の圃場(ほじょう)を管理、梨の出荷を始める。梨の出荷は、早期から始める収穫や出荷作業などを家族と分担して進めている。栽培管理では土づくりや、た直売所や地元農家と



組合員交流の場にも

戸川西生産組合は8日、戸川の福祉施設「ときの家」で組合員を対象とした健康教室を開いた。JAが設ける「健康教室助成基準」を活用して毎年開いているもの。組合員18人が参加した。助成基準は1回の健康教室の開催につき、JAが講師料と5000円を助成する仕組み。教室のテーマは「脳イキキ生活化」や「ロコモ予防で毎日イキイキ元気！」などから選ぶことができる。参加者は、JA神奈川

県厚生連の保健師から脳の若さを保つための食生活や運動方法などを学んだ。その後、市の防災アドバイザーも務める山田文夫生産組合長から、健康を維持しながら災害を乗り切るためのこつなどを教わった。同生産組合の健康教室は今年で4回目。回を重ねるごとに、組合員の交流の輪も広がり、同生産組合の視察研修会や、JAの座談会などの参加者増加にもつながっている。

今月の特集
4~5面
協同の大切さ伝えたい
JAはだの、組合員や協同組合の仲間と力を合わせ、市内でさまざまなイベントを開催。市内外に向けて協同や地産地消の大切さを広く発信している。

2019年カレンダー
祝日の記載について
組合員訪問日でお配り「だのカレンダー」は、作成した2019年のJAは、時点で天皇陛下の退位お

よび皇太子殿下の即位に伴う祝日が確定していない状況だったため、未定日の日付については黒字、該当行事名は日付の下に赤字で記載しています。

今後、商品の販売を始めるのは、尾尻の「ペーカリサンパシー」、今泉の「うすらとあずき」と「パンのくま小屋」、平沢の「トラットリアフーコ」、並木町の「丹沢ベーカリー」、曲松の「パティスリークラブベリナ」など。試験的にパンを焼いた店主からは「香りが良く、味に深みが出る」と高い評価を受けている。

小泉貴寛組合長は「今後もJAはもちろん、商業者とも連携し、秦野産小麦の魅力をもっとの人に伝えていきたい」と力強く語った。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

品質上々 収穫スタート

秦野市内で11月中旬、JAはだのが地域振興作物に位置付けているニンジン「アロマレッド」の収穫が始まった。台風や夏の多雨が発芽に影響したものの、全体的に品質は上々だ。JAは今年、約3万の集荷を見込んでいる。



「アロマレッド」は、食味の良さとフルーティな香りが特徴の品種。2014年から生産が始まり、現在は市内の農家11人が合計約33万の畑で栽培している。JAは生産者をサポートしようと、種子の費用を一部助成する他、TAC(地域農業の担い手に向く営農担当者)が施設している。JAは生産者をサポートしようと、種子の費用を一部助成する他、TAC(地域農業の担い手に向く営農担当者)が施設している。

田んぼアートの米でおにぎり来店者に振る舞い活動をする。本町支所運営委員会は、15日、今年制作した田んぼアートの米でおにぎりを作り、同支所の来店者に振る舞った。地域住民らにJAや同会の活動への理解を促そうと実施。来店者からは「もちもちしている」「とてもおいしい」など人気を博した。田んぼアートは、JA創立55周年を記念して制作したもの。同会は、上大槻の水田で小田急線の

肥管理や収穫時期などを指導している。さらに、規格外品などを活用したポタージュスープの開発も進んでいる。生産者の一人、蓑毛の湯山忠夫さんは、8月上旬から3月の畑で「アロマレッド」の栽培に励んでいた。「JAのサポートには助かっている。今年も色づきが良く、しっかりしたニンジンができた」と、笑顔を見せる。今年の出荷は22日から開始。来年1月下旬まで、JA全農中央ベジフルセンターを通じて県内のAコープなどに出荷を続ける予定だ。

「おいしい」の声を励みに。は、家族と共に合計約2畧の圃場(ほじょう)を管理、梨の出荷を始める。梨の出荷は、早期から始める収穫や出荷作業などを家族と分担して進めている。栽培管理では土づくりや、た直売所や地元農家と

「おいしい」の声を励みに。は、家族と共に合計約2畧の圃場(ほじょう)を管理、梨の出荷を始める。梨の出荷は、早期から始める収穫や出荷作業などを家族と分担して進めている。栽培管理では土づくりや、た直売所や地元農家と

「おいしい」の声を励みに。は、家族と共に合計約2畧の圃場(ほじょう)を管理、梨の出荷を始める。梨の出荷は、早期から始める収穫や出荷作業などを家族と分担して進めている。栽培管理では土づくりや、た直売所や地元農家と

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。



大豆を選別する部員

大豆プロジェクト 収穫、脱粒に奮闘

部員が地産地消体感

女性部が、同部で取り組む「自給率向上！大豆プロジェクト」で栽培する大豆を収穫した。部員の地産地消への意識を高めようと、栽培から調理までの一連の工程を体験。11日には、部員27人が上大槻の畑で刈り取り



と脱粒に汗を流した。部員は、6月に種まきをした大豆「津久井在来」を草刈り機で根元から刈り取った。その後、コンパインを使って脱粒したり、さやと豆を分けたり分担しながら作業を進めた。作業後は、畑に

落ちている大豆を拾い集め、無駄がないように努めた。今年は作付面積を増やしたこともあり、昨年より70%以上多い約210kgを収穫した。今年、大豆は支所ごとにみそ造りなどで活用していく予定だ。

災害時に女性力発揮へ

女性理事と女性部は、女性ならではの視点を生かし、女性組員が活躍できる環境づくりを進めている。健康や食などをテーマに、毎年意見を出し合ひさまざまなアイデアを生み出している。今年10月23日、各地で多発する自然災害に備えて「防災学習会」を開いた。

女性理事と専用袋で炊飯



袋を使った炊飯に挑戦

12月の女性部行事予定表			
4日(火)	9:00	大豆プロジェクト会議	
//	10:00	運動会・農業まつり反省会	
//	13:00	本部役員会	
5日(水)	8:30	フレッシュミセスのつどい	
6日(木)	7:25	企画旅行(7日まで)	
11日(火)	9:30	ふるさと料理教室(南幼稚園)	
//	9:30	女性部支部役員会(東)	
//	13:30	女性部支部役員会(大根・本町)	
12日(水)	10:00	生活文化活動体験発表会	
13日(木)	9:30	女性部支部役員会(西)	
//	13:30	女性部支部役員会(南・北・上)	

両者の交流は2015年にスタート。毎年意見交換会を開き、これまで五穀豊穡(ほづじょう)の願いを込めた「かかし作り」や、健康な体づくりにつなげる「オリジナル体操・踊りの作成」などを実施してきた。当日は、本所で防災アドバイザーを招いて開催。水道やガス、電気の使用が止まったと仮定し、専用の袋を使った炊飯と家庭用トイレの使い方を学んだ。

富田京子理事は「生活のサポートは女性の力が重要。私たちが一丸となることで、JAや地域の活性化につなげていきたい」と意気込みを語った。

支部だより

西支部

こうじ造り
西支部は10月24日、26日の3日間、本所の農産加工室でこうじ造りをした。部員10人が参加した。

1日目、部員はふかした米を人肌まで冷ましてからこうじ菌を入れてよく混ぜた後、発酵機に入れた。2日目には2回米を返し、3日目にはできたこうじを自宅に持ち帰った。最終日には塩こうじの作り方も学んだ。

東支部

交流会
東支部は10月30日、東支所が同支部で開いた「お茶飲み交流会」に協力した。高齢者の健康維持と仲間づくりを目的に、運動や工作を組み合わせて企画された。

「梅の会」

代表 杉山 頼子さん
「梅の会」は書道愛好者の会です。発足してから10年近くたちました。月に1〜2回、JA敷地内にある農業団地センターの会議室を借りて稽古しています。日頃は、古典の臨書を中心に、習練に励んでおり、何より会員相互の親睦と融和を大切にしています。

大根支部

教室
大根支部は13日、大根公民館でひろはたこども園の園児の母親を対象にふるさと料理教室を開いた。参加者20人に、「太巻きすし」の作り方を教えた。

いばさんず NEWS

【12月のイベント】

- ☆「ユースマルシェ」1日(土) 青年部員がカブやホウレンソウなどを対面販売します。
- ☆「国産豚の加工品」1日(土)、15日(土) この日限りの特売品をご用意します。試食すれば国産品のおいしさを実感できますよ。
- ☆「果物フェア」2日(日) 秦野産や産地提携先JAの果物を販売します。
- ☆「みかんの日」3日(月) 秦野産ミカンの食べ比べができます。
- ☆「乾物商品大集合」8日(土)、9日(日) 乾物をはじめとした珍味の数々をご用意。セット購入がお買い得です。
- ☆「シクラメン祭り」8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日) 秦野産シクラメンを店頭価格の10%引きで販売します。地

方発送もできます。

- ☆「ぽかぽかフェア」22日(土) ユズ、レンコン、ダイコン、ショウガなどの他、鍋の素を販売します。
- ☆「長野フェア」23日(日) JA上伊那の年越し蕎麦を対面販売します。
- ☆「お茶フェア」24日(月) 高梨茶園が和紅茶を対面販売します。
- ☆「年末市」28日(金)、29日(土)、30日(日) 野菜や加工品の他、大人気のコロッケなどを販売します。
- ☆「お歳暮フェア」24日(月) まで 大人気の乾麺セットをお買い得価格で販売します。
- ☆「試食の日」毎週火曜日 旬の野菜を使ったお手軽料理をご紹介します。
- ☆「お米の日」毎週水曜日 店頭価格から10%引き。
- ☆「肉の日」毎週木曜日と29日 店頭価格から5%引き。
- ☆「たまごの日」毎週月、金曜日 店頭価格から10%引き。 ※一部商品除く。
- ◎11日(火)は定休日です。

果樹

キウイフルーツ
かいつ病の予防
かいつ病は、細菌によって引き起こされるキウイフルーツの重要病害で、世界にはPsa1、2、3、5の4系統があり、このうち日本ではPsa1、3、5の3系統が発生しています。サルナシ、マタタビなど、マタタビ属の植物に感染します。なお、感染した果実を食べると人体への影響はありません。

営農技術 ヒント・ポイント

協力 農業技術センター 0463-58-0333

- 果樹花き課 果樹花き (伊藤 藤平)
- 野菜課 野菜 (吉岡 辻本)
- 作物加工課 作物 (辻本)

普及指導部

症状

感染した枝は、春季や秋季に白色や赤褐色に枯死し、花が腐敗し、落花が生じ、開花が不完全となります。花腐細菌病と症状が類似しているため、外観のみでの判別は難しく、園内から除去し埋却または焼却します。病徴が著しい感染樹は伐採します。

対策のポイント

有効な治療方法がないため、伝染源を除去し、周囲に感染を拡大させないことが重要です。感染した枝葉は伝染源になるため、園内から除去し埋却または焼却します。病徴が著しい感染樹は伐採します。

JAはだの 2018 年末特別貯蓄運動

ウインターキャンペーン

キャンペーン期間 2018年11月15日(木)~12月28日(金)

期間限定 うれし!! 店頭表示金利の 金利プレゼント6倍

新規定定期金1年 または3年自動継続

11月15日(木)~ 新規定定期金 [30万円以上]を預入された方に 通帳や印鑑などを持ち運べる 「ちょリス マルチケース」をプレゼント!

※お1人様1個限り、なくなり次第終了

お申し込み 県内農産物お届けキャンペーン 同時実施中!

窓口にご来店、新規定定期金を開設された方には 「足柄茶」ポトル缶 (290g) プレゼント!

※お1人様1個限り。

告知板

いばさんずの パートスタッフ募集

いばさんずは、パートスタッフを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽に電話ください。

●業務内容 レシやお品出し

◎時給 1015円

◎時間 午前8時~午後7時(時間内シフト制)

◎待遇 社会保険完備・交通費規定支給・車通勤可

お問い合わせは、いばさんずまで。 ☎81-77-0811

JAはだの、農業機械利用事業の環境で、剪定(せんてい)チップを貸し出しています。利用する際には事前に講習会の受講をお願いいたします。左記の通り、講習会を開催しますので、お気軽にご参加ください。

◎日時 12月1日(土) 午前9時

◎場所 JAはだの農機センター

◎対象者 JAはだの組合員

◎内容 チッパーの取り扱い方法について

お問い合わせは農機センターまで。 ☎81-77-0811

袋が足りない場合は封筒での代用も可能です。

◎提出場所 各支所・支店または営農課

※分析用の土は日陰で乾燥させ、ふるいに通して袋に入れてください。

量は、ふるいに通した土なら袋半分、通していない土は袋いっぱい入れてください。

採土した畑や水田の地番の他、自宅住所も記載してください。

◎診断結果 2019年2月中旬に処方箋を付けて郵送します。

お問い合わせは営農課まで。 ☎81-77-18

はだのでは、ご自宅のぬいぐるみや人形を、丁寧に供養し、処分させていただきます。供養祭後、内覧会も開催いたします。

◎日時 12月16日(日) 午前9時~午後10時

▽供養式 午前10時から

◎供養費 ぬいぐるみや人形は人形1体 1000円

▽段ボール1箱 1000円

◎土地の所在および地番 堀山下445

◎地目 田

◎面積 737平方メートル

秦野市農業委員会事務室

◎内容 午前8時、農業技術センターの職員による講義・実演。午後からは、個別の相談を受け付けます。

お問い合わせは生活福祉課まで。 ☎72-7661

JA正職員(新卒・経験者)を募集

●応募資格 大学・短大を2019年3月に卒業予定の方、または大学・短大を卒業し2019年3月末で30歳未満の方(市内および隣接市町に在住の方)

●募集人員 若干名

●職種 JA業務全般(事務・渉外・店舗など)

●受付期間 2019年1月15日(火)まで

●勤務開始日 2019年4月15日を予定しています

●応募方法 下記ホームページの採用情報欄をご覧ください

●問い合わせ先 ☎257-0015 秦野市平沢477番地 秦野市農業協同組合 企画管理部総務課 人事教育係 ☎0463-81-7711(平日の午前8時30分から午後5時まで)

■ホームページアドレス <http://ja-hadano.or.jp>

た、近隣園で発症がみられる、雨が多いなどの感染が広がりやすい状況であれば、さらに追加で防除します。

感染樹に使用したハサミやノコギリなどの器具からも伝染するため、器具は園地ごとに別のものを使用し、樹ごとに器具を次亜塩素酸ナトリウム水溶液で200ppm以上または70%エタノール液で消毒します。また、園地の出入りの際は靴底を消毒するなど、他の園地や樹に病原菌を持ち込まないように心がけましょう。

次亜塩素酸ナトリウム水溶液は皮膚への刺激があるため取り扱いにはご注意ください。なお、次亜塩素酸ナトリウム水溶液の作り方については、広島市のHPが詳しいです。(消毒液の作り方と使用上の注意<http://www.city-hiroshima.lg.jp/www/contents/1265935032760/index.html>) (伊藤)